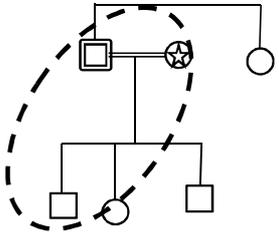


ケース概要（第51回 地域リハビリテーションケース会議）

	Kさん	年齢	86	性別	男性
障害者手帳	なし			要介護認定	要介護 1
疾患名	パーキンソン病				
家族状況		主な支援者		キーパーソン	
		妻、長女		妻	
<p style="text-align: center;"><b>家族機能等</b></p> <p>妻が主に介護している。妻も不眠症で眠れないので夜中も対応してしまい疲れるという悪循環になっている。長女も近くにおり、本人の調子が悪い時は泊まり込みで支援してくれることもあった。長男は宮崎在住。二男は同居だが、朝8:00頃から出勤し16~17:00頃帰宅している。</p>					
<b>生活歴</b>					
小倉生まれ。戦争中、疎開で日明に行った。戦後、父が54歳で退職。その後父は亡くなる。兄弟も5人いたが3人は早くに亡くなった。母一人だったので中学卒業と同時に時計の見習い奉公に出た。23歳で独立して開業。27歳で結婚。その後現在まで店を切り盛りする。					
<b>経過</b>					
H29頃	大腸ポリープや便秘など発症				
H30. 3/14	九州労災病院にてパーキンソン病の診断受ける				
H30. 4/17	ケアマネ初回訪問。介護認定要支援2。数件通所サービス体験利用後ウィル片野利用開始。				
R2. 2	右半身（手、指先、足）の筋力低下を感じる。運動は1日4回継続。コロナウィルスが流行するが、来年9月の60周年までは頑張りたいと休まず店を続ける。				
R2. 5	仕事で細かい作業が出来なくなってきており業者に依頼している。異動のため担当CM交代。				
R3. 4	介護認定更新で要支援 1になる。包括に移管となる。				
R6. 7	コロナウィルス感染しまつた動けなくなった。区分変更するので担当変更希望と包括より連絡あり。区分変更と同時に要介護暫定のケアプラン作成、訪問リハビリ、歩行器導入。				
R6. 8	お店の継続が困難なため閉店を決意。				
R6. 9/10	リハビリにて歩行状態改善してきていたが、外出時転倒し第一腰椎にヒビ。				
R6. 9/27	痛みが強いため健和会大手町病院入院。その後大手町リハビリテーション病院転院。				
<b>ADL・IADLの状態</b>				<b>住環境・福祉用具等</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リビングのイスからの立ち上がりは反動を付けなければならない。</li> <li>・ベッドはギャッジアップで20~22度起こせばスムーズに起き上がり可能。</li> <li>・歩行器（持ち上げ型歩行器）を使用しベッドからリビングまで15~20m自立歩行可能。</li> <li>・トイレ内でつかまれば立位保持できるがズボンやリハビリパンツの上げ下ろしは一人では困難。</li> <li>・入浴は自宅では難しく、デイケアにて入浴予定。</li> <li>・食事が院内ではむせが強く、一口大で水分はとろみが必要。妻が対応できないとのこと、宅配弁当を退院後試してみる。</li> <li>・夜間はオムツ+パットが良いかもしれない。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内は段差なし。玄関上がり框あり。手すりなどの設置はなし。</li> <li>・勝手口にも段差あるが住宅改修にて手すり設置済み。</li> <li>・レンタルにて介護ベッド、介助バー、歩行器。ポータブルトイレ購入予定。</li> </ul>	
<b>医療・社会資源等の状況</b>					
〔医療〕					
MDR病院	月1回	パーキンソン病			
NKT病院	月1回	便秘など			
〔サービス利用状況〕					
訪問リハビリ	週2回				
福祉用具貸与		歩行器、特殊寝台、特殊寝台付属品、車イス			
〔自費対応〕： 有償運送タクシー					

# 生活目標点検表

生活目標： 転倒に注意しながら自宅での生活を続けたい

	項目	チェック	優先度	現状と課題（年 月時点）	支援の方針	
心身機能	身体機能	医学的な問題	○	2	パーキンソン病。 日によって病態にムラあり。 徐々に進行していく。	自助具、福祉用具の検討
		全身状態	○			
		リスク管理				
	精神機能	関心・やる気を持てる	○	1	パーキンソン病の影響により、自発性の低下を認める。 睡眠障害あり。日中傾眠傾向。	興味関心チェックリストを活用するも、「TV でスポーツ観戦が好き」とのこと。医師から服薬調整困難なためかかりつけ医で対応とのこと。
		目標を作れる	○			
		精神的安定				
		睡眠	○			
活動	日常生活活動	食事を摂る	○	2	嚥下機能低下により、食形態に工夫が必要な状態。その他、ADL 面も全体的に介助が必要。入浴はシャワー浴で実施。	入浴はデイケアで対応予定。 排泄は日中ポータブルトイレ、夜間はオムツ対応。 オムツ、食事、動作での家族指導を実施。
		排泄	○			
		整容				
		着替え				
		入浴	○			
		起居	○			
		移動	○			
	日常生活関連活動	食事の確保	○	2	IADL 全般は妻が実施。 認知面低下（MMSE23点→17点）により、自己管理能力乏しく支援が必要。	配食サービス利用を提案。 身の回りは妻が支援している。
		家事（掃除、洗濯）				
		買い物				
		自己管理能力				
		留守番				
		認知面（理解、記憶）	○			
		経済面				
社会参加	生活範囲	○	2	パーキンソン病・認知症の進行により、自発性低下傾向、リハビリ以外の時間は臥位でテレビを見るなどで過ごされている。	当院デイケア利用提案。	
	自己決定能力（外出、趣味、仕事、サービス調整）	○				
	コミュニケーション	○				
	対人関係					
	交通機関の利用					
社会資源	在宅支援サービス	○	3	長女からの支援（車での送迎など）も得られる予定。	妻の介護負担が増えないよう支援する（情報共有）。	
	地域支援体制					
	緊急時の対応体制					
環境因子	家族機能	○	2	2階建ての持家。 本人居住スペースは1階のみ。	福祉用具の検討を行う。	
	人的交流					
	家屋環境	○				
	周辺環境					
個人因子	生活歴の特性	○	2	時計、メガネ店を経営されていた。	妻の介護負担を減らすため、入浴はデイケア利用。	
	本人が望むこと	○				